

分野	基本目標 (第3回審議会から変更があったものを朱書き)	目指す姿 (第3回審議会から変更があったものを朱書き)	私たちが取り組むこと(一部抜粋)	
			市民・企業など	行政
子ども・若者	1 安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち	1 社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えています。また、子育てする人同士の交流も進んでいます。 2 多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全で心地よい居場所が整っています。 3 ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きながら安心して子育てができる環境が整っています。	○子どもと子育てを支える意識の向上	○子育て世代の交流や地域などにおける子育て支援の促進
	2 誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち	1 子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしています。また、虐待やいじめなど、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切に対応しています。 2 支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切なサポートを受け、安心して過ごしています。 3 若者は、安心して過ごせる居場所をよりどころに 社会とつながり 、将来への希望を持ちながら輝いています。(旧 社会的に自立し)	○子どもの権利の理解や関心の向上	○子どもの権利の理解の促進
	3 一人一人の良さや可能性を大切に する教育を通して、子どもが健やかに育つまち	1 多様性が尊重された環境の下で、子どもは、自分の特性や興味・関心に応じた学びと他の子どもとの協働的な学びなどを通して、自立に向けて成長しています。 2 子どもは、生涯にわたって心身の健康の保持増進を図る資質や能力を身に付けています。 3 地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、家庭、地域、企業等が連携して子どもの成長を支えています。	○多様性への理解	○子どもの多様性を尊重し、可能性を最大限引き出す学びの提供
生活・暮らし	4 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち	1 あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしています。 2 誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされています。	○健康への意識の向上	○市民や企業の健康への理解の促進
	5 生活しやすく住みよいまち	1 多様なニーズに応じた住まいが確保されているとともに、在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整い、支援を要する方とその家族は、医療・介護・福祉の連携の下、適切な支援を受けています。 2 建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進み、誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる環境が整っています。 3 誰もが申請や相談等の手続をオンラインで完結することができるなど、行政や地域社会のデジタル化が進むことにより、官民によるサービスの利便性が高まり、市民生活の質が向上しています。 (旧 行政のデジタル化が進み、誰もが申請や相談等の行政手続をオンラインで完結することができるなど、行政サービスの利便性が向上しています。) 4 市民・企業・行政の連携やICTの活用などにより、市民の多様な暮らしを支える交通環境が保たれているとともに、持続可能な除排雪体制の下で冬期の道路環境が確保されています。	○多様なニーズに応じた住まいの供給	○住まいの確保に課題を抱える方への居住支援
地域	6 互いに認め合い、支え合うまち	1 年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを互いに認め合い、尊重し合う、平和で包摂的な社会となっています。 2 世代や国籍を超えた交流や趣味を通じた交流などにより、市民のつながりが深まり、相互の信頼や協力が得られる社会が形成されています。	○年齢・性別・障がい・国籍・民族・宗教・文化などの違いへの理解	○心のバリアフリーの推進
	7 誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち	1 誰もが自身のライフスタイルに合わせながらまちづくり活動に参加し、支え合いながら地域の課題を解決しています。また、区役所やまちづくりセンターが拠点となり、様々な活動が推進されています。 2 誰もが市政を身近なものと感じ、 計画の立案段階などから積極的に参加 しています。 3 良好な生活環境の維持につながる地域コミュニティの中核として、地縁による団体(町内会・自治会)が生き生きと活動しています。 4 地縁による団体(町内会・自治会)、福祉のまち推進センター、NPO、商店街、企業などの多様な主体が参画し、地域に密着したまちづくり活動が進んでいます。	○まちづくり活動への理解や関心の向上	○まちづくり活動の担い手の育成・確保への支援
安全・安心	8 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち (旧 防災減災体制が整い、迅速に復旧復興できるまち)	1 地震や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大などが起きても、生活や経済への影響を最小化するとともに、感染症の感染拡大を早期に抑えることができます。 2 災害時や感染症の感染拡大時においても、誰もが安心して医療や介護を受けることができます。また、一人で避難することが難しい方への細かな配慮がなされているなど、誰一人取り残されずに被災者の安全が確保されているとともに、復旧復興に向けて市民に寄り添った支援が行われています。 3 防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行っています。また、有事の際には一人一人が主体的に行動し、協力し合うなど、地域の防災力が高まっています。	○所有建築物などの耐震化、停電対策、浸水対策や事業継続対策の推進	○災害時などを想定した各種計画の策定
	9 日常の安全が保たれたまち	1 犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されています。 2 強靱な消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られています。 3 交通ルールや自転車マナーが順守され、事故の少ない安全な交通環境が実現しています。 4 食の安全が守られ、誰もが健やかで豊かな食生活を送っています。	○自立した消費者としての意識の向上	○犯罪や消費生活に関するトラブルを未然に防止する対策の充実

分野	基本目標 (第3回審議会から変更があったものを朱書き)	目指す姿 (第3回審議会から変更があったものを朱書き)	私たちが取り組むこと (一部抜粋)	
			市民・企業など	行政
経済	10 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち	<ol style="list-style-type: none"> 札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を的確に捉え、国内外からの新たな消費を生み出し、札幌市はもとより北海道の経済成長をけん引しています。 健康福祉・医療、ITやクリエイティブ分野の産業が、国内外から投資や人・企業を呼び込み、札幌市の新たな強みとして更なる成長を遂げています。 	○食分野における国内外への販路の拡大	○食や観光分野の振興への重点的な支援
	11 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち(旧 ~支える、開かれたまち)	<ol style="list-style-type: none"> 中小企業・小規模企業や商店街など、事業を営むもの全ての活動が活発で、地域のにぎわいや経済を支えています。 様々な分野でデータや先端技術が活用され、生産性が向上することにより、人口減少社会においても持続的な経済成長を遂げています。 行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実し、誰もがチャレンジできる文化が根付くことにより、多くのスタートアップが生まれ続けています。 様々な企業の立地や創業が進むことにより、産学官連携や、国内はもとより海外の企業などとの交流が活発に行われ、ビジネスチャンスや新たな価値が創出され続けています。 	○地域の店舗の利用	○経営基盤の強化への支援
	12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち	<ol style="list-style-type: none"> 安心して働ける魅力的な雇用が安定的に確保されるとともに、企業も必要とする人材を確保できています。 多様な人材が持てる能力を発揮し、誰もがやりがいや充実感を得ながら働くことができるとともに、高い専門性を生かすことができる職場で、若い世代を始めとした幅広い年代の人材が活躍しています。また、こうした多様性が、イノベーションをもたらすきっかけとなっています。 働きやすい職場環境が整備されるとともに、多様で柔軟な働き方や、仕事と生活の調和のとれた生き方が実現しています。 	○職業能力の向上や自己啓発	○職業能力の向上や自己啓発への支援
スポーツ・文化	13 世界屈指のウィンタースポーツシティ	<ol style="list-style-type: none"> 身近なところでウィンタースポーツを楽しむことのできる環境が充実しています。また、札幌市で育ったウィンタースポーツのアスリートが国内外で活躍しています。 豊富な降雪量と都市機能を合わせ持つ世界でも稀有な環境を生かして、大規模なウィンタースポーツ大会を誘致・開催し、世界から注目されています。 	○積極的なウィンタースポーツへの参加	○ウィンタースポーツに参加しやすい環境づくり
	14 四季を通じて誰もがスポーツを楽しめるまち	<ol style="list-style-type: none"> 誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っています。また、スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされています。 スポーツをきっかけに国内外から人が訪れ、地域経済が活性化しています。 	○積極的な参加(する・みる・ささえる)や交流	○誰もが気軽に参加しやすい環境づくり
	15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち	<ol style="list-style-type: none"> 誰もが文化芸術に親しみ、<u>創作や表現ができる環境が整い</u>、多様な価値観が受け入れられています。 札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、<u>多くの人が集まるとともに</u>、様々な分野との連携によって新たな価値が創出され、まちの魅力が向上しています。 文化・文化財を適切に保存し様々な形で生かすとともに、札幌市への愛着を深めることで、札幌市の自然・歴史・文化が未来へ継承されています。 	○鑑賞や創作活動への積極的な参加	○年齢・障がいの有無などにかかわらず、誰もが観賞・創作に参加しやすい環境づくり
環境	16 世界に冠たる環境都市(旧 サステナブルシティ)	<ol style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の早期実現に向け、更なる省エネルギー化に加え、北海道・さっぽろ圏の豊富な再生可能エネルギーの導入拡大や新たなクリーンエネルギーである水素エネルギーの活用のほか、ゼロエミッション自動車の普及が進んでいます。 エネルギー利用に関する世界トップレベルの取組が展開され、高い環境性能と強靭性を兼ね備えた都心が確立されています。 ごみの減量・再使用・リサイクルなどが積極的に行われるとともに、近隣地域と資源を補完し支え合う地域循環共生圏の形成を含めた循環型社会が構築されています。 誰もが経済・社会とのつながりを理解しながら環境保全や気候変動対策などに取り組んでおり、ライフスタイルの変革や技術革新が進んでいます。 	○ZEH・ZEBの選択や供給	○ZEH・ZEBや省エネルギー機器などの普及の促進
	17 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち	<ol style="list-style-type: none"> 森林、農地、公園や河川などの保全・創出・整備により、豊かなみどりのあるまちの中で、誰もが健康的で幸福感の高い生活を送っています。 森林や公園などの身近なみどりが自然との触れ合いや人々の交流の場に加え、防災、経済活動、水源涵養、二酸化炭素の吸収などの多面的な機能を発揮し、都市の魅力やレジリエンス(自己回復力・強靭性)を高めています。 生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自然と人が共生しています。 	○保全・創出・整備に関するまちづくり活動への主体的な参加	○公有地のみどりの保全・創出や民有地のみどりの保全・創出の促進
都市空間	18 コンパクトで人にやさしい快適なまち	<ol style="list-style-type: none"> 都市空間の種別に応じた土地利用と四季の変化が感じられる良好な景観の形成などにより、多様なライフスタイルを実現できる魅力あるまちになっています。 「地域交流拠点」では、商業・サービス機能や行政機能など多様な都市機能の集積が進み、快適な交流・滞留空間や歩きたくなる空間が形成され、様々な活動が行われています。 「複合型高度利用市街地」では、集合型の居住機能と多様な生活利便機能が集積し、「一般住宅地」では、多様な居住機能と生活利便機能が調和を保って立地し、「郊外住宅地」では、地域特性に応じた生活利便機能が確保されたゆとりある良好な住環境が維持されています。 四季を通じて、誰もが快適に利用でき、環境にもやさしい移動環境・手段が整備されることにより、公共交通を軸とした持続可能でシームレスな交通ネットワークが確立されています。 	○まちづくりに関する計画の策定やエリアマネジメントなどへの積極的な参加	○まちづくりに関する計画などの策定や推進
	19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち	<ol style="list-style-type: none"> 「都心」では、民間投資と共鳴した新しい時代にふさわしい高次の都市機能の集積が進んでいます。また、快適な交流・滞留空間やみどりの創出、移動環境の充実により、魅力的でうるおいのある歩きたくなる都心が形成されるとともに、データや先端技術の活用などにより、イノベーションが創出され、新しい価値が生まれ続けています。 「高次機能交流拠点」では、国際的・広域的な観点を持った産業や観光、スポーツ、文化芸術などの都市機能の高度化と集積が進み、国内外問わず、多くのヒト・モノ・投資・情報を呼び込んでいます。 「工業地・流通業務地」では、操業環境の保全や土地利用の再編、低未利用地等の適切な活用などにより、老朽化した施設の更新や機能の高度化・複合化が進んでいます。 広域交通ネットワークの充実・強化により、道内の都市や観光地を始め、国内外の地域とのつながりが深まり、新たな交流が促進され、さっぽろ圏はもとより北海道全体の社会経済活動が活発化しています。 	○まちづくりに関する計画の策定やエリアマネジメントなどへの積極的な参加	○まちづくりに関する計画などの策定や推進
	20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限活用するまち	<ol style="list-style-type: none"> 道路、交通施設、上下水道、公園、<u>河川</u>、廃棄物処理施設等のインフラや、住宅、<u>事務所</u>、区役所、学校、<u>スポーツ施設</u>等の建築物は、老朽化のほか、必要な機能や人口動態、地域の特性なども踏まえ、計画的な維持・保全・更新・再配置・複合化が行われ、誰もが快適に利活用しています。また、ICTや先端技術の活用により、効率的な維持・保全や施設規模の適正化などが行われています。 公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連携により、市民ニーズ・社会経済情勢を捉えた多様で柔軟なサービスの提供が行われています。 道路や広場などの都市基盤等の空間が有効に利活用され、まちにゆとりやにぎわいが生まれています。 	○民間のインフラや建築物の計画的かつ効率的な維持・保全・更新	○公共のインフラや建築物の計画的かつ効率的な維持・保全・更新